

平成 30 年度 呉小学生バレーボール連盟 運営基本方針

全国・広島県の各組織で、小学生チーム及び選手登録数増加に向け取り組んでいるが、成果は十分でない。このことは、児童数の減少だけでなく、指導者の資質や倫理に関わる問題が小学生バレーボールの発展を妨げる一因ともなっている。こうした背景の中で、呉小学生バレーボール連盟は、いついかなる時も「プレイヤーズファースト」の精神を持つ指導者育成並びに資質・能力の向上を進め、バレーボール王国広島再建、明るく楽しい小学生バレーボールを目指したい。

最近では、呉地区各チームの努力で、バレーボールの「技術」向上と「礼儀とマナー」の姿勢・態度が浸透してきており、県バレーボール関係者からの評価も高い。

平成 30 年度は、8年間で一定の成果を上げた「呉小バ連・サテライト」を休止し、将来のトップアスリートを育成するため、各種団体の協力も得ながら在り方を模索していく。また、今年度も第4回「広島県小中連携男子バレーボール教室」を呉地区で開催し、県内他地区の選手や中学生優秀選手との交流を深め、各選手が「より高み」を目指す姿勢や態度の育成につなげる。そして、2019年度から呉地区で3年間開催する「広島ドリーム県大会」の準備も併せて進める。

各種事業に組織力をもって、あたたかみの感じられる運営にあたりたい。そのために、各チームと役員等が組織にしっかり携わり、一層の普及・発展に努力し合っていくことを誓い合いたい。

○ 体罰・暴力等の禁止事項を完全に排除

県小バ連の倫理規定、移籍規定に従い、指導上起こる体罰・セクハラ等の禁止事項については、あらゆる機会を通じて、指導者に対し、その徹底を図る。しかし、残念ながら事案が発生した場合は、該当者、チームに対し、厳しいペナルティーを科す。
(平成21年度から県小バ連「倫理規定」施行)

○ 普及事業と強化学業の拡充

バレーボール界の発展を考え、「広島県小中連携男子バレーボール教室」の拡充と「広島ドリーム県大会」(2019~2021年度)開催で、事業を積極的に展開し、バレーボール人口拡大と将来のトップアスリートの発掘や強化を進める。
(普及・強化学業の拡充)

○ ルールを遵守する体制づくり

ルールの徹底と審判技術の向上に努めるとともに、チーム関係者や保護者の協力も得ながら、子供たちにとって充実した楽しい大会にしていく。
(呉地区審判講習会の開催と積極的参加)

○ 広報活動の充実

本連盟が主催する大会要項や試合結果、登録にかかわる手続き等をホームページに掲載し、一層の広報活動の充実を図る。
(ホームページ等の保護者等への周知)